

事務事業評価シート

(H.28)No.	1459	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	観光資源開発事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	367101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光資源開発事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光資源開発事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード	2-5.実践型地域雇用創造事業推進(なばり観光戦略の推進)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
国の地方創生先行型交付金事業を活用し、広域インバウンド観光の推進により、地域経済の活性化を図る。
事業内容
室生赤目青山国定公園を中心とする東大和西三重エリアを、心身ともに癒されるスピリチュアルなエリアとして、「修験の道」をテーマに、温泉・宿泊などを結び付けた広域的なトレイルルートを設定し、これをベースとした情報発信・旅行商品造成等を展開する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ◆賃金(臨時雇用賃金) 382千円 ◆需用費(消耗品 90千円、印刷製本費 1,825千円) ◆委託料 425千円 ◆工事費(観光看板多言語化) 4,048千円 ◆備品購入費(レンタサイクル他) 2,733千円 ◆負担金及び補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ改修負担金 8,000千円 ・広域観光促進交付金等 27,500千円 ・トレッキングルート造成等補助金 5,000千円 	(H27完了)

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	50,002千円					
内訳(千円)	国・県支出金	50,000				
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0)	2	0	0	0
人工数	職員	1.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	臨時職員等	0.50人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 8,450千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
①+②総事業費	(0千円) 58,452千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
国の交付金事業を活用し、「修験の道」をテーマにトレイルルートの整備や広域トレイルルートを設定を行うとともに、多言語案内看板やガイドマップ等を整備し、外国人観光客誘致に向けた環境整備を行った。	H27年度に整備した資源を活用し、継続的に外国人観光客誘致に向けた取組を進める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	事業の取組により、国内外の観光客誘致を図り、市内の観光レクリエーション入込客数の増加及び外国人旅行者の誘致につなげる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	NPO法人赤目四十八滝渓谷保勝会に補助し、トレッキングルート整備を行うとともに、精進料理レシピの作成にあたっては食生活改善推進員の協力を得るなど、市民活動団体等との協働を図った。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
--	------------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
平成27年度完了事業

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
名張市観光戦略 名張市エコツーリズム全体構想